指導案　アイディアを調理してみよう

■基礎データ

|  |  |
| --- | --- |
| 大目標 | ＊＊＊PART2　発散技法を学ぶ＊＊＊ |
| ステップ・タイトル | ステップ5 >>> アイディアを調理してみよう（第5回） |
| ねらい（学習目標） | ①オズボーンのチェックリストとは何かを知る②チェックリスト法の方法を知る③ある基準でアイディアを変化させることのおもしろさと難しさを知る |
| 使用する技術 | チェックリスト法 |
| 受講者に与えるテーマ（例） | 「21世紀夢のようなレストラン」「予約殺到!! 今テレビで話題の時計」「１回使ったら手放せない手帳」 |
| 進行 | ①導入・グループ分け・説明→②個人ワーク→③グループワーク→④全体発表（各班2分・全体で20分程度）→⑤まとめ |
| グループ内の役割分担 | トランプの1の人を全体発表の発表者（プレゼンター）として指名する |
| 用意する物品 | キッチンタイマー（全体時間管理）、A4コピー用紙（各人2 枚：自己紹介用、グループワーク時のメモ用）、ワークシート（チェックリスト法）（A3に拡大コピーして使用すると使いやすい）（人数分）、水性ペン（黒・人数分（各人の筆記用具でもよい））、トランプ（グループ分けに必要な場合） |
| 備考1 | 「発散技法」を中心に学習したい場合には、テーマを変えながらSTEP04～STEP06で取り上げた発散技法などをくり返し実施してもよい |

■学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構成 | 学習活動の内容 | 指導上の留意点 |
| 1.導入（15分） | ⑴導入（15分） | それでは、みなさん、挨拶しましょう。おはようございます／こんにちは。※受講者にも発声させる |
|  | 前回のふりかえり（実施した場合） | 前回は発散技法という「アイディアを出す方法」の中でも「自由連想・関連法」について、ワークシートをもとにグループワークをしました。まずはとにかく思いついたキーワードを口に出し、そこから連想ゲーム、マジカルバナナのように言葉を出していき、言葉同士をうまく組み合わせて、新しいアイディアを生み出しました。今回の技法はもう少し発展させて、出てきたアイディアを調理する、自分なりに加工することに挑戦してもらいます。 |
|  | グループ分け | それではグループ分けをしましょう。グループに分かれる時には、荷物を持って移動してください。※グループの分け方は「STEP01 学習の流れ ①導入 グループ分け」参照 |
|  | アイスブレイク | グループに分かれましたか。まずはアイスブレイクをしましょう。A4の紙を使って自己紹介をしてください。各班、A4の紙と黒の細い水性ペンを人数分持っていってください。※ A4の紙を使った自己紹介は「STEP01 学習の流れ ④展開3」参照※アイスブレイクの説明が必要な場合は「STEP01 学習の流れ ⑤まとめ」参照(10分程度のアイスブレイク後）おつかれさまでした。まだ終わっていないグループも、時間の関係で終了してください。みなさん拍手をお願いします。 |
| 2.展開1（10 分） | ⑵チェックリスト法について説明する（10 分） | 今日は発散技法という「アイディアを出す技法」の中でも「チェックリスト法」という技法によるグループワークに挑戦していきたいと思います。※発散技法の説明が必要な場合は「STEP04 学習の流れ ②展開1」参照 |
|  | チェックリスト法とはチェックリストとは | チェックリスト法ですが、「チェックリスト法」という１つの決まった方法があるわけではありません。「チェックリストを使った方法」というくらいに考えてください。 |
|  | オズボーンのチェックリスト | 世の中のチェックリストの多くは、ミスを起こさないための一覧表ですが、今回のチェックリストは、アイディアを発見するための一覧表です。特に今回は、アメリカの広告代理店BBDOの副社長だったアレックス・F・オズボーンが考案した世界的に有名なチェックリストを使います。オズボーンはアイディアを引き出す時にいくつかの質問をすることが効果的だと述べています（オズボーン，1958）。それを後に、マサチューセッツ工科大学の創造工学研究所が、9つの質問に集約しました。日本でよく「オズボーンの9つのチェックリスト」といわれているリストです。このリストをもとに作ったのが今日のワークシートです。オズボーンの9つを見ていきましょう。 |
|  | ①転用 | 1つ目は、転用です。「別の使い道はないか」、「そのままの状態で新しい使い方はないか」、「一部を改造して他の使い道はないか」を考えます。殺菌機能のある電球、ドラッグストア併設のコンビニ、カステラの切れ端を集めた商品、映画の登場人物の服のファッションショーを行う映画館などです。 |
|  | ②応用 | 2つ目は、応用です。「別の似たものは」、「似たアイディアはないか」、「他のアイディアを真似できないか」を考えます。コウモリの特徴を真似て開発したレーダー、カフェに寄せて美味しいコーヒーやドーナツを販売するコンビニ、菜食主義者用のベジタリアンミート、トクホの炭酸飲料などです。 |
|  | ③変更 | 3つ目は、変更です。「変えてみたら」、「色、音、素材、動き、形式を変えてみたら」、「意味づけを変えてみたら」を考えます。定額制の映画館、インスタ映えするカラフルな食べ物、観光地でおとなしめの色合いで営業するコンビニ、中身はそのままでリニューアルしたパッケージ、壁に掛けられる薄型テレビなどです。 |
|  | ④拡大 | 4つ目は、拡大です。「大きくしてみたら」、「大きく、多く、強く、高く、長く、厚くしてみたら」、「付加価値をつけてみたら」を考えます。映画館の年間パスポート、大きなサイズ専門の洋服屋、1.5倍のカップラーメン、超巨大駐車場があるコンビニ、あえて大きく頑丈な腕時計（G-SHOCK）などです。 |
|  | ⑤縮小 | 5つ目は、縮小です。「小さくしてみたら」、「小さく、少なく、弱く、低く、短く、薄くしてみたら」、「機能や情報を減らしたら」を考えます。1人用のカラオケボックスや焼肉屋、ジャンルを特化した映画館や、靴下だけの専門店、駅構内売店と提携したコンビニ、機能限定の高齢者向けスマートフォンなどです。 |
|  | ⑥代用 | 6つ目は、代用です。「他で代用できないか」、「素材、人、物、場所、方法を代用できないか」を考えます。豆腐で作ったハンバーグ、宅配便や公共料金収受が代行できるコンビニ、原料の異なる第三のビール、こんにゃく麺でカロリーオフのラーメン、壁から音が出る壁スピーカーなどです。 |
|  | ⑦置換 | 7つ目は、置換です。「入れ替えてみたら」、「レイアウト、配置、順序、要素、原因結果を再配列してみたら」を考えます。初めから犯人がわかっている刑事ドラマ、レジを奥に配置して滞在時間を増やすコンビニ、料金を先に支払う食券制のレストラン、ブランドごとでなくジャケット・シャツ・靴下など種類ごとの売り場などです。 |
|  | ⑧逆転 | 8つ目は、逆転です。「逆にしてみたら」、「上下、左右、表裏、順序、前後、考え方をひっくり返したら」を考えます。リバーシブルのジャケット、深夜から早朝に営業する映画館、左きき専用の商品のみ売る専門店、あえて店内調理に力をいれるコンビニなどです。 |
|  | ⑨結合 | 最後の9つ目は、結合です。「組み合わせてみたら」、「素材、目的などをブレンドしてみたら」を考えます。ラーメン・チャーハンセット、消しゴム付きシャープペンシル、カメラ付き携帯電話、カフェ併設の図書館、芸能人やアニメとのコラボパチンコ台などです。 |
| 3. 展開2（7分） | ⑶チェックリスト法　（7分）ワークシートの説明 | 「チェックリスト法」で、アイディアを出す練習をしましょう。ワークシートに班と名前を書いてください。今日のテーマは「21世紀の夢のようなレストラン」です。みなさんで21世紀にふさわしい夢のようなレストランを話し合って、最後に各班2 分で発表をしてください。夢のようなレストランですので、今の技術では現実的にありえないレストランでも結構です。チェックリストを使って、アイディアをたくさん出し、21世紀の夢のようなレストランを提案してください。※テーマは何でもよいが、製品・企画開発などで活用される手法のため、家電、文房具などの製品や、イベントなどのサービス関連のものがよい※各班の発表時間は、状況に応じて変える。今回は、各班3分×6 班＋バッファ（調節できる予備の時間）2分の、全体で20分を想定 |
| グループワークの説明①個人作業 | ワークシートには、①から③まで番号がついています。この順番でグループワークを進めていきます。まずは①です。「個人作業」と書いてあります。ここには縦に四角が9つ並んでいます。この9つの記入欄をすべて埋めるように頑張ってください。「イメージトレーニング」をしてこの技法を使いこなせるようにすることが目的のため、周囲の人と相談しないでください。9つの視点は重なっているので、どの視点に書いたらよいかわからないアイディアが出た時は、どこでもよいので、とりあえず書いていってください。時間の目安は10分です。次にグループワークがあるので、時間を計りながら調整して、ほぼ全員が書き終えたら次へ進んでください。※ここまで時間を区切ってやってみてから次の②に進んでもよい。時間はおおよそ10分を想定する |
| ②グループ作業 | 次はワークシート②です。ここはグループワークです。各人のアイディアを発表しあいながら、「②グループ作業」の下に縦に並んでいる９つの四角を埋めてください。「（1）別の使い道は（転用）」について、１人ずつ発表し、全員が発表した後は、次に（2）について全員が発表し、そして（3）……といったように進めてください。※ここまで時間を区切ってやってみてから次の③に進んでもよい。時間はおおよそ12分を想定する |
| ③完成アイディア | 最後は③の完成アイディアです。ここもグループワークです。テーマ「21世紀の夢のようなレストラン」について、②で出された９つのアイディアすべて、もしくはいくつかを使いながら、またはそれらのアイディアをさらなる連想の出発点にしながら、夢のようなレストランを提案してください。③のタイトルは、最後に考えましょう。まずは内容です。どんなレストランなのか、どんな夢のような内容なのか、何が21世紀なのかについて四角の中に説明してください。なるべく関連アイディアとの関係性が明らかになるように書いてください。そしてタイトルです。レストランの名前を書くだけでもよいですが、「〇〇ができるレストラン」と名づけたり、固有名詞のレストラン名などをつけてもらっても素敵です。※ここまで時間を区切ってやってみてから次の発表に進んでもよい。時間はおおよそ13分を想定する |
| 発表 | 最後は発表です。発表時間は〇時〇分から各班〇分で発表してください。発表は、プレゼンター役の人が発表してください。各班のトランプの1の人がプレゼンターです。よろしくお願いします。発表は③を中心に発表してください。①②についてはいくつかのアイディアを紹介するようにして時間内に収めてください。※発表は、残り時間や班の数によって変えてよいが、1分（③中心）もしくは2分程度とした方がよい※余裕があれば質疑応答の時間を入れる |
| 4. 展開3（35分） | ⑷グループワーク（35分）はじめの合図グループワーク開始 | よろしいでしょうか。わからないところがあったら、私が各班をまわりますので、その時に聞いてください。それでは始めてください。※キッチンタイマーなどで時間を計る（終了時に音が出るものなどがよい）※基本的には35分程度を作業時間とする。時間管理は講師側が全体ファシリテーターとして行う。「発表開始まで30分前」、「15分前」、「10分前」、「5分前」など全体に周知する |
| 5. 展開4（35分） | ⑸全体発表（20分） | おつかれさまでした、みなさん拍手をお願いします。それでは発表に移ります。１班のプレゼンターから順番に発表してもらいます。今日の発表は前には出ず、プレゼンターはその場に立ってみなさんの方を向いて発表してください。キッチンタイマーを2 分間にセットしていますので、プレゼンターはスタートボタンを押して発表を始めてください。※前に出て発表をさせてもよい。その場合にはプレゼンターだけではなく、班のメンバー全員を前に出して「班としての発表」を演出する方がよい※グループワーク中に、各班をまわってプレゼンターにトランプを引かせて発表順を決めてもよいまずは1 班のプレゼンターさん、よろしくお願いします。 |
| 発表終了 | ありがとうございました。みなさん拍手をお願いします。次は２班のプレゼンターさん、よろしくお願いします。※最後のプレゼンターまで発表する※時間に余裕があれば質疑応答を行ってもよい |
| 6.まとめ（3分） | ⑹まとめ（3分） | これで全部の班の発表が終わりました。みなさん、もう一度拍手をお願いします。（拍手）ありがとうございました。 |
| ふりかえり | 今日は、アイディアを生み出す発散技法の１つである「チェックリスト法」を学びました。※数人から感想を尋ねてもよいオズボーンの9つのチェックリストは、「9つの基準」に従ってアイディアを生み出していくことに特徴があります。１人で考えたアイディアよりも、みんなで出し合った最後のアイディアの方が、自分では思いつかないような色々な意見が入ったかと思います。今日はこれでおしまいにしたいと思います。おつかれさまでした。 |

■評価ポイント

1．オズボーンのチェックリストとは何かを知る

2．チェックリスト法（属性列挙法）の方法を知る

3．ある基準でアイディアを変化させることのおもしろさと難しさを知る

■特記事項

STEP04の指導案中に挙げた参考資料をもとに、別の発散技法を実施してもよい

複製・加工等ご自由にどうぞ